

# 雇用環境部門

## 特別養護老人ホーム 七美ことぶき苑

所在地 射水市七美891番地

サービス 特別養護老人ホーム

電話 0766-86-2500

URL <http://kijukai.or.jp/>

### 評価のポイント

- ★福祉用具と介護ロボット等の導入による接触点・接触機会が半減することを調査により明らかにし、利用者の不安と職員のストレス解消を実現
- ★接触箇所の特定を活かし、重点的な消毒を実施

### 取組みを始めた背景・経緯

手で抱え上げる介助では、職員と利用者との密着が生まれ、感染症の流行期には職員が利用者を感染させるリスクがあり、更に他の職員へ感染症が広がるリスク、対応に追われるリスク、その結果、職員不足を生むリスクが大きな不安材料でした。

### 取組みの概要・特徴

移乗用リフトや介護ロボットは、利用者のADL（日常の生活動作）維持とQOL（生活の質）向上、職員の負担軽減の目的で導入していましたが、感染症対策にも大きな効果があると考え、使用時の接触点に対する調査を行いました。

また、センサで睡眠状態を把握できる見守り支援介護ロボットを施設全床に導入し、利用者のバイタルサイン（脈拍、体温等）をリアルタイムで把握するとともに、訪室機会減少を図り、接触機会に対する調査を行いました。

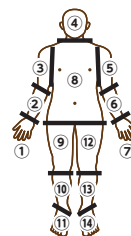


移乗支援介護ロボット

### 特に工夫した点・苦労したこと

移乗用リフトや介護ロボットを使用する際、職員と利用者が接触した箇所を特定しやすくするため、身体部位を14に分けて各部位の接触について調査しました。

見守り支援介護ロボットの導入には大きなコストがかかりましたが、施設全床に導入することで、均一のサービスを提供することができました。



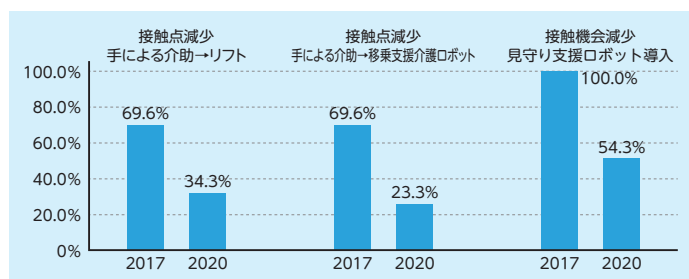
### 取組みの成果

利用者にとって施設内に感染症を運んでくるリスクがあるのは、施設の職員です。移乗用リフトや介護ロボットの使用で職員と利用者との密着がなくなり利用者の感染症に対する不安が解消されました。

同様に職員も自身から利用者へ感染させてしまうリスクのストレスが軽減し、距離感を保持しつつ対面で介助できることが安心へと繋がりました。

また、接触点を重点的に消毒でき、感染症のリスクを低減しました。

見守り支援介護ロボット導入により、不要な訪室や接触を避けることができ、接触機会が減少しました。



利用者の表情を見ながら介助